



ALLIANCEBERNSTEIN®

運用報告書(全体版)

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信 (隔月決算・予想分配金提示型) 愛称：プレミアバリュー

追加型投信／海外／株式

第1期(決算日2023年9月15日) 第2期(決算日2023年11月15日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2044年5月16日まで(信託設定日：2023年6月16日)	
運用方針	アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。	
主投資対象	アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信(隔月決算・予想分配金提示型)	アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場企業の株式を主要投資対象とします。
組入制限	アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信(隔月決算・予想分配金提示型)	① 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ② 外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド	① 株式への投資割合には、制限を設けません。 ② 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ② 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないこともあります。 ③ 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信(隔月決算・予想分配金提示型)」は、このたび第2期の決算を行いました。

ここに、第1期から第2期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 込 配 金 騰 落 中 率			株 式 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額	
		税 分	込 配	金 騰					落 中
(設定日) 2023年6月16日	円 10,000			円 —	% —	% —	% —	百万円 35	
1期(2023年9月15日)	10,582			100	6.8	88.4	—	2.5	767
2期(2023年11月15日)	10,484			100	0.0	91.8	—	2.1	1,385

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

※ベンチマークおよび参考指数について

当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していないため、掲載しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第 1 期	(設定日)	円	%	%	%	%	%
	2023年6月16日	10,000	—	—	—	—	—
	6月末	10,264	2.6	57.7	—	—	1.7
	7月末	10,315	3.2	79.7	—	—	2.3
	8月末	10,599	6.0	87.6	—	—	2.6
第 2 期	(期 末)						
	2023年9月15日	10,682	6.8	88.4	—	—	2.5
	(期 首)						
	2023年9月15日	10,582	—	88.4	—	—	2.5
	9月末	10,491	△0.9	91.3	—	—	2.6
10月末	10,019	△5.3	89.0	—	—	2.6	
第 2 期	(期 末)						
	2023年11月15日	10,584	0.0	91.8	—	—	2.1

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。

(注) 各期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

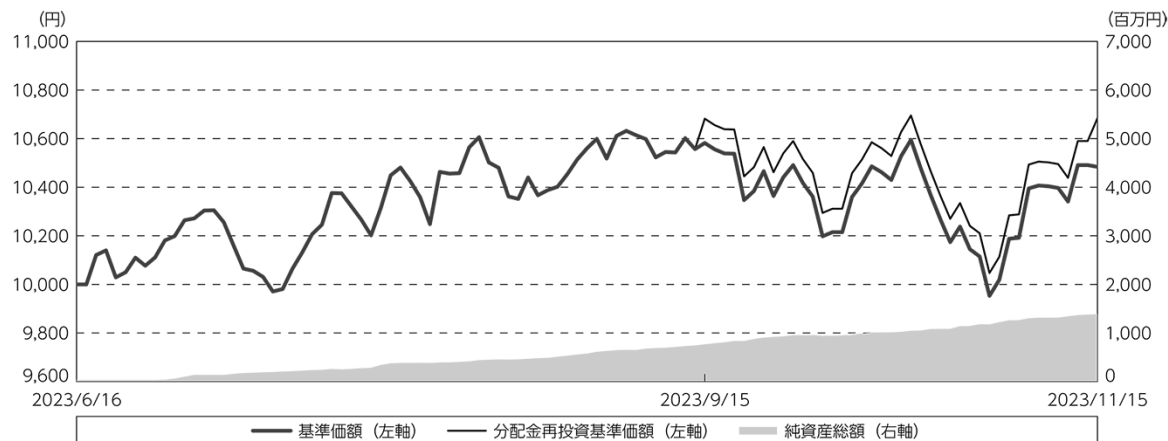
(注) 月末は、各月の最終営業日です。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信（隔月決算・予想分配金提示型）（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

作成期間中の基準価額等の推移

（2023年6月16日～2023年11月15日）



設定日：10,000円

第2期末：10,484円（既払分配金（税込み）：200円）

騰落率：6.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、当初設定日（2023年6月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は当初設定日比で上昇しました。

○基準価額の変動要因

上昇要因

- ・保有する金融関連銘柄やヘルスケア関連銘柄の株価上昇
- ・円安米ドル高となったこと

下落要因

- ・保有する一般消費財・サービス関連銘柄の株価下落

投資環境

（2023年6月16日～2023年11月15日）

【株式市場】

米国株式市場は、当初設定日比で上昇しました。

当初設定日から2023年7月末にかけては、米国における債務上限問題の決着やインフレ鈍化傾向を受けた利上げの終了観測などを背景に上昇基調で推移しました。8月上旬から10月末にかけては大手格付機関による米国国債の格下げや米国長期金利の上昇が嫌気され下落基調となりました。その後当作成期末にかけては、米国長期金利が低下したことや、好決算などを背景に一部のハイテク株主導で反発しました。

【為替市場】

当初設定日比で円安米ドル高となりました。

当初設定日から2023年7月半ばにかけては日本銀行（日銀）の為替介入への警戒感や米国の利上げ打ち止め観測などから円高米ドル安となりました。その後当作成期末にかけては、米国長期金利の上昇を受けて円安米ドル高基調で推移しました。

運用概況

（2023年6月16日～2023年11月15日）

【当ファンド】

当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド(以下「マザーファンド」ということがあります。)受益証券への投資を通じて、主として株価が魅力的で強固なビジネスモデルにより業績の向上が期待される米国株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

当ファンドは、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

【マザーファンド】

綿密なファンダメンタル分析に基づき、株価が魅力的で強固なビジネスモデルにより業績の向上が期待される企業に選別投資を行います。運用にあたっては、優れたビジネスを有する企業を魅力的な株価で取得することにより、長期的に安定したリターンを創出することを目指しました。

その結果、セクター配分においては、金融セクター、ヘルスケア・セクター、資本財・サービス・セクターが上位となりました。

＜マザーファンドのセクター別組入比率＞

当作成期末（2023年11月15日現在）

セクター	比率
金融	21.4%
ヘルスケア	18.7%
資本財・サービス	16.0%
情報技術	9.6%
エネルギー	7.5%
その他	20.8%
現金等	6.1%

（注）組入比率はアライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

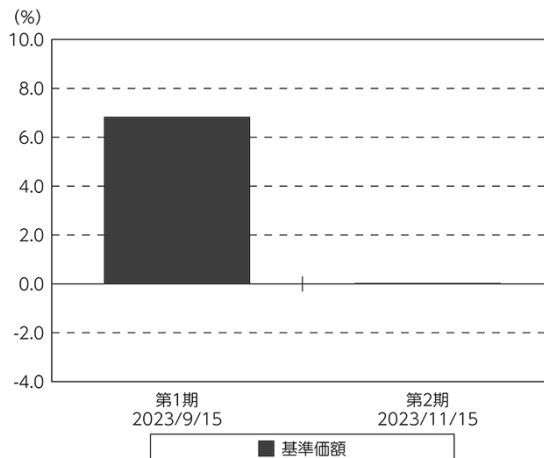
マザーファンドの設定に伴いポートフォリオを構築しました。当作成期間においては、資金流入に伴い、エレバンスヘルスや、フィリップ・モリス・インターナショナルなどの組入上位銘柄を中心に買い増しました。株式の組入比率は当作成期を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年6月16日～2023年11月15日）

当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2023年6月16日～2023年11月15日）

当作成期間の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定しました。各決算期の分配金については以下をご覧ください（当作成期間合計：200円）。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万円当たり、税込み）

項 目	第1期	第2期
	2023年6月16日～ 2023年9月15日	2023年9月16日～ 2023年11月15日
当期分配金	100	100
（対基準価額比率）	0.936%	0.945%
当期の収益	100	100
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	581	483

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

【当ファンド】

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

【マザーファンド】

米国では、足もと実質金利が上昇していることで金融引き締め効果が発現するとみっており、2024年の米国経済は低成長に留まると想定しています。企業業績についても下押し圧力が強まる可能性があるかとみえています。低成長のマクロ環境や、地政学リスクの高まりにより市場環境の先行きが不透明ななかでは、外部環境に左右されにくい企業に厳選して投資を行うことが重要と考えます。

マザーファンドでは、徹底したファンダメンタルズ・リサーチに基づき、“プレミアバリュー企業”を発掘する方針を維持しています。プレミアバリュー企業とは、優れたビジネスによりキャッシュを多く創出しているにもかかわらず、株式市場の評価の歪みにより低く評価された企業です。マザーファンドの保有銘柄は、フリーキャッシュフロー利回りが高く、収益の変動が小さく、レバレッジが低いという魅力的なファンダメンタルズを保持している企業です。このような優れた経営を行う企業は、資本を賢く配分し、配当を増やし、株式の長期的な価値を高めることができると考えます。

引き続き、優れたビジネスを有する企業を魅力的な株価で取得することにより、長期的に安定したリターンを創出することを目指します。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年6月16日～2023年11月15日）

項 目	第 1 期～第 2 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 73	% 0.702	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(36)	(0.345)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(36)	(0.345)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.019	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(2)	(0.017)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.086	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.046)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(4)	(0.039)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、計理業務関係費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合 計	84	0.807	
作成期間中の平均基準価額は、10,337円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

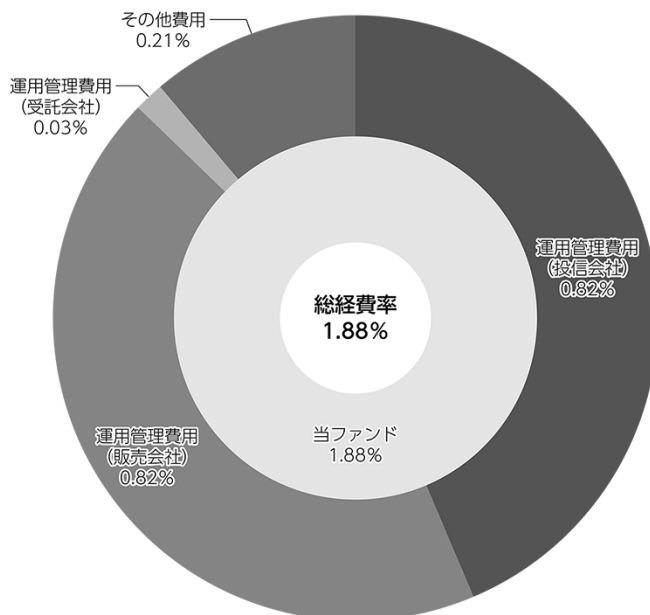
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成対象期間の平均受益権口数に作成対象期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2023年6月16日～2023年11月15日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第1期～第2期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド	千口 1,316,530	千円 1,384,102	千口 39,163	千円 41,800

（注）単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

（2023年6月16日～2023年11月15日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第1期～第2期	
	アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	6,376,216千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	2,240,216千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.84	

（注）株式売買金額は、受け渡し代金。

（注）平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2023年6月16日～2023年11月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自己設定による当ファンドの設定・解約状況

（2023年6月16日～2023年11月15日）

当初設定元本	当作成期設定元本	当作成期解約元本	第2期末残高(元本)	取引の理由
百万円 35	百万円 —	百万円 35	百万円 —	当初設定時における取得とその処分

（注）単位未満は切り捨て。

（注）—印は該当なし。

○組入資産の明細

（2023年11月15日現在）

親投資信託残高

銘柄	柄	第2期末	
		口数	評価額
		千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド		1,277,366	1,385,687

（注）単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2023年11月15日現在）

項目	第2期末		
	評価額	比率	
		千円	%
アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド	1,385,687	98.8	
コール・ローン等、その他	16,551	1.2	
投資信託財産総額	1,402,238	100.0	

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンドにおいて、第2期末における外貨建純資産（5,509,073千円）の投資信託財産総額（5,954,927千円）に対する比率は92.5%です。

（注）外貨建資産は、第2期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=150.66円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第1期末	第2期末
	2023年9月15日現在	2023年11月15日現在
		円
(A) 資産	776,029,061	1,402,238,752
コール・ローン等	291,435	151,258
アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド(評価額)	759,637,626	1,385,687,494
未収入金	16,100,000	16,400,000
(B) 負債	8,737,877	16,341,414
未払収益分配金	7,251,226	13,219,571
未払信託報酬	1,403,876	2,949,500
その他未払費用	82,775	172,343
(C) 純資産総額(A-B)	767,291,184	1,385,897,338
元本	725,122,666	1,321,957,102
次期繰越損益金	42,168,518	63,940,236
(D) 受益権総口数	725,122,666口	1,321,957,102口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,582円	10,484円

（注）当初設定元本額35,000,000円、第1～2期中追加設定元本額1,323,834,086円、第1～2期中一部解約元本額36,876,984円。第2期末現在における1口当たり純資産額1.0484円。

○損益の状況

項 目	第1期	第2期
	2023年6月16日～ 2023年9月15日	2023年9月16日～ 2023年11月15日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 153	△ 12
支払利息	△ 153	△ 12
(B) 有価証券売買損益	24,779,278	17,910,560
売買益	25,577,626	17,907,283
売買損	△ 798,348	3,277
(C) 信託報酬等	△ 1,486,651	△ 3,121,843
(D) 当期損益金(A+B+C)	23,292,474	14,788,705
(E) 前期繰越損益金	—	16,015,787
(F) 追加信託差損益金	26,127,270	46,355,315
(配当等相当額)	(△ 293)	(14,244,926)
(売買損益相当額)	(26,127,563)	(32,110,389)
(G) 計(D+E+F)	49,419,744	77,159,807
(H) 収益分配金	△ 7,251,226	△13,219,571
次期繰越損益金(G+H)	42,168,518	63,940,236
追加信託差損益金	26,127,270	46,355,315
(配当等相当額)	(557,323)	(14,703,931)
(売買損益相当額)	(25,569,947)	(31,651,384)
分配準備積立金	16,041,248	17,584,921

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第1期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(1,402,557円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(21,889,917円)、および収益調整金額(26,127,270円)より分配対象収益額は49,419,744円(10,000口当たり681円)であり、うち7,251,226円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

(注) 第2期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(2,021,653円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(12,767,052円)、収益調整金額(46,355,315円)および分配準備積立金額(16,015,787円)より分配対象収益額は77,159,807円(10,000口当たり583円)であり、うち13,219,571円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

	第 1 期	第 2 期
1 万口当たり分配金（税込み）	100円	100円

★分配金の内訳、税金の取扱いは以下のとおりです。（各決算期ごとに計算されます。）

◇課税上の取扱い

①分配金の課税について

- ・分配金は「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に区分され、普通分配金に課税されます。
- ・分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本と同額または受益者の個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。ただし分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回り、かつ分配金と分配落ち後の基準価額を加えたものが受益者の個別元本と同額か下回る場合には、分配金の全額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

②個人の課税上の取扱い

- ・元本払戻金（特別分配金）：元本払戻金（特別分配金）は、お客様の取得元本の一部の払い戻しに当たるため、課税されません。
- ・普通分配金：個人の受益者の源泉徴収時には、配当所得として以下のように課税されます。
20.315%（所得税15.315%、地方税5%）
※法人の場合は上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。詳しくは販売会社へお問い合わせください。

※外国税額控除の適用となった場合には、普通分配金から源泉徴収される税額が上記と異なる場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご相談されることをお勧めします。



アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド

第1期(決算日2023年11月15日)

(計算期間：2023年6月16日～2023年11月15日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。
主要運用対象	米国の金融商品取引所上場企業の株式を主要投資対象とします。
組入制限	①株式への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株式先物比率	株式先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		期騰	落中率				
(設定日) 2023年6月16日	円 10,000		% —	% —	% —	% —	百万円 69
1期(2023年11月15日)	10,848		8.5	91.8	—	2.1	5,677

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株式先物比率	株式先物比率	投資信託組入比率	投資信託組入比率
		騰	落率				
(設定日) 2023年6月16日	円 10,000		% —	% —	% —	% —	% —
6月末	10,330		3.3	57.7	—	—	1.7
7月末	10,400		4.0	79.7	—	—	2.3
8月末	10,723		7.2	87.5	—	—	2.6
9月末	10,729		7.3	91.2	—	—	2.6
10月末	10,257		2.6	88.8	—	—	2.6
(期末) 2023年11月15日	10,848		8.5	91.8	—	—	2.1

(注) 各騰落率は設定日比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークおよび参考指数について
当マザーファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していないため、掲載していません。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド(以下「当マザーファンド」ということがあります。)の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2023年6月16日～2023年11月15日)

○基準価額等の推移

基準価額は当初設定日比で上昇しました。

○基準価額の主な変動要因

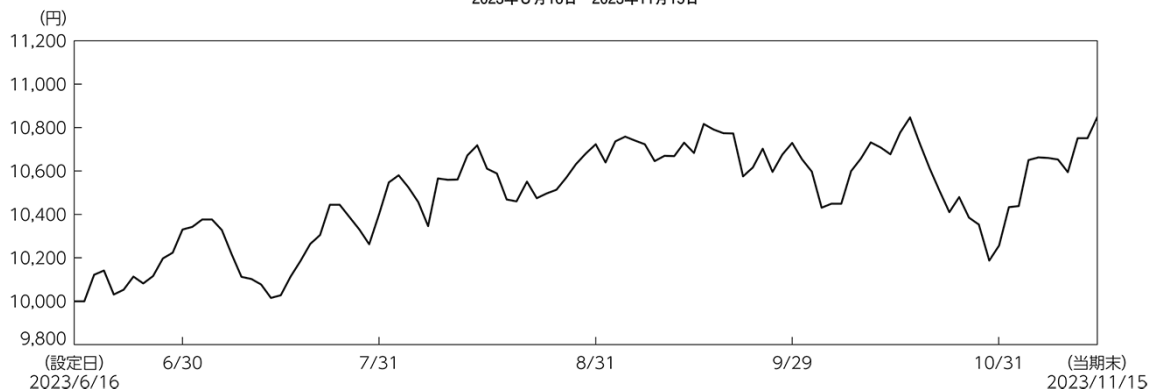
上昇要因

- ・保有する金融関連銘柄やヘルスケア関連銘柄の株価上昇
- ・円安米ドル高となったこと

下落要因

- ・保有する一般消費財・サービス関連銘柄の株価下落

当期中の基準価額の推移
2023年6月16日～2023年11月15日



投資環境

(2023年6月16日～2023年11月15日)

【株式市場】

米国株式市場は、当初設定日比で上昇しました。

当初設定日から2023年7月末にかけては、米国における債務上限問題の決着やインフレ鈍化傾向を受けた利上げの終了観測などを背景に上昇基調で推移しました。8月上旬から10月末にかけては大手格付機関による米国国債の格下げや米国長期金利の上昇が嫌気され下落基調となりました。その後期末にかけては、米国長期金利が低下したことや、好決算などを背景に一部のハイテク株主導で反発しました。

【為替市場】

当初設定日比で円安米ドル高となりました。

当初設定日から2023年7月半ばにかけては日本銀行（日銀）の為替介入への警戒感や米国の利上げ打ち止め観測などから円高米ドル安となりました。その後期末にかけては、米国長期金利の上昇を受けて円安米ドル高基調で推移しました。

運用概況

(2023年6月16日～2023年11月15日)

当マザーファンドは、主として株価が魅力的で強固なビジネスモデルにより業績の向上が期待される米国株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。綿密なファンダメンタル分析に基づき、株価が魅力的で強固なビジネスモデルにより業績の向上が期待される企業に選別投資を行います。運用にあたっては、優れたビジネスを有する企業を魅力的な株価で取得することにより、長期的に安定したリターンを創出することを目指しました。

その結果、セクター配分においては、金融セクター、ヘルスケア・セクター、資本財・サービス・セクターが上位となりました。

<マザーファンドのセクター別組入比率>

当期末（2023年11月15日現在）

セクター	比率
金融	21.4%
ヘルスケア	18.7%
資本財・サービス	16.0%
情報技術	9.6%
エネルギー	7.5%
その他	20.8%
現金等	6.1%

(注) 組入比率はアラライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

当マザーファンドの設定に伴いポートフォリオを構築しました。期中においては、資金流入に伴い、エレバンスヘルスや、フィリップ・モリス・インターナショナルなどの組入上位銘柄を中心に買い増しました。株式の組入比率は期を通じて高い水準を維持しました。

今後の運用方針

米国では、足もと実質金利が上昇していることで金融引き締め効果が発現するとみており、2024年の米国経済は低成長に留まると想定しています。企業業績についても下押し圧力が強まる可能性があるとみています。低成長のマクロ環境や、地政学リスクの高まりにより市場環境の先行きが不透明ななかでは、外部環境に左右されにくい企業に厳選して投資を行うことが重要と考えます。

当マザーファンドでは、徹底したファンダメンタルズ・リサーチに基づき、“プレミアバリュー企業”を発掘する方針を維持しています。プレミアバリュー企業とは、優れたビジネスによりキャッシュを多く創出しているにもかかわらず、株式市場の評価の歪みにより低く評価された企業です。当マザーファンドの保有銘柄は、フリーキャッシュフロー利回りが高く、収益の変動が小さく、レバレッジが低いという魅力的なファンダメンタルズを保持している企業です。このような優れた経営を行う企業は、資本を賢く配分し、配当を増やし、株式の長期的な価値を高めることができると考えます。

引き続き、優れたビジネスを有する企業を魅力的な株価で取得することにより、長期的に安定したリターンを創出することを目指します。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年6月16日～2023年11月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 2 (2) (0)	% 0.019 (0.017) (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	5 (5) (0)	0.048 (0.048) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	7	0.067	
期中の平均基準価額は、10,487円です。			

(注) 期中の費用(消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2023年6月16日～2023年11月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 4,082 (1)	千米ドル 38,896 (5)	百株 526 (-)	千米ドル 4,355 (5)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使(株式転換)、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) 一印は該当なし。

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ		千米ドル		千米ドル
	PUBLIC STORAGE	567	135	—	—
	WEYERHAEUSER CO	30,431	967	10,100	294
	小計	30,998	1,103	10,100	294

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

(注) 一印は該当なし。

○株式売買比率

(2023年6月16日～2023年11月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	6,384,514千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,240,216千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.84

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月16日～2023年11月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年11月15日現在)

外国株式

銘柄	株数	期末評価額		業種等
		当		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ…ニューヨーク市場)	百株	千米ドル	千円	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	45	290	43,803	保険
CENCORA INC	49	959	144,603	ヘルスケア機器・サービス
ELEVANCE HEALTH INC	37	1,713	258,164	ヘルスケア機器・サービス
BJ'S WHOLESALE CLUB HOLDINGS	41	289	43,685	生活必需品流通・小売り
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	41	1,463	220,423	金融サービス
BHP GROUP LTD-SPON ADR	44	268	40,424	素材
BORGWARNER INC	113	380	57,349	自動車・自動車部品
BUILDERS FIRSTSOURCE INC	19	267	40,252	資本財
THE CIGNA GROUP	10	294	44,315	ヘルスケア機器・サービス
CHEVRON CORP	51	751	113,199	エネルギー
CONOCOPHILLIPS	44	509	76,818	エネルギー
CURTISS-WRIGHT CORP	7	153	23,123	資本財
DR HORTON INC	13	176	26,527	耐久消費財・アパレル
DOVER CORP	31	430	64,798	資本財
EOG RESOURCES INC	42	532	80,190	エネルギー
EMCOR GROUP INC	15	337	50,812	資本財
EMERSON ELECTRIC CO	66	586	88,397	資本財
EPAM SYSTEMS INC	7	179	27,047	ソフトウェア・サービス
FISERV INC	78	956	144,089	金融サービス
HELMERICH & PAYNE	53	211	31,921	エネルギー
JPMORGAN CHASE & CO	92	1,368	206,173	銀行
LOWE'S COS INC	22	458	69,104	一般消費財・サービス流通・小売り
MASTERCARD INC - A	31	1,247	187,877	金融サービス
MAXIMUS INC	43	340	51,265	商業・専門サービス
METLIFE INC	46	288	43,506	保険
PPG INDUSTRIES INC	27	363	54,751	素材
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	127	1,154	173,895	食品・飲料・タバコ
PHILLIPS 66	58	674	101,651	エネルギー
QUEST DIAGNOSTICS INC	21	286	43,152	ヘルスケア機器・サービス
RAYMOND JAMES FINANCIAL INC	13	139	20,978	金融サービス
RTX CORPORATION	44	360	54,340	資本財
ROBERT HALF INC	39	316	47,712	商業・専門サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	47	472	71,141	半導体・半導体製造装置
TEXTRON INC	66	511	77,124	資本財
WABTEC CORP	26	302	45,589	資本財
WALMART INC	30	508	76,582	生活必需品流通・小売り
WELLS FARGO&COMPANY	266	1,121	168,916	銀行
ALLEGION PLC	34	366	55,267	資本財
AXIS CAPITAL HOLDINGS LTD	127	703	105,987	保険
ACCENTURE PLC-CL A	21	677	102,074	ソフトウェア・サービス
FERGUSON PLC	34	576	86,856	資本財
NVENT ELECTRIC PLC	104	556	83,797	資本財
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	69	226	34,147	資本財
LYONDELLBASELL INDU-CL A	30	297	44,834	素材

アラライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド

銘柄	株数	当期末		業種等
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ…店頭市場)	百株	千米ドル	千円	
ALPHABET INC-CL C	61	828	124,851	メディア・娯楽
AMGEN INC	32	884	133,190	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BANK OZK	38	158	23,922	銀行
CHAMPIONX CORP	43	133	20,097	エネルギー
CISCO SYSTEMS INC	126	673	101,430	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COMCAST CORP-CL A	163	684	103,131	メディア・娯楽
ELECTRONIC ARTS INC	33	449	67,792	メディア・娯楽
GILEAD SCIENCES INC	132	991	149,339	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IPG PHOTONICS CORP	19	189	28,560	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
LKQ CORP	119	552	83,265	一般消費財・サービス流通・小売り
MIDDLEBY CORP	11	137	20,741	資本財
PACCAR INC	60	549	82,781	資本財
PAYPAL HOLDINGS INC	58	329	49,648	金融サービス
QUALCOMM INC	111	1,419	213,812	半導体・半導体製造装置
REGENERON PHARMACEUTICALS	13	1,109	167,171	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ROSS STORES INC	49	617	93,034	一般消費財・サービス流通・小売り
(アメリカ…OTCBB市場)				
ROCHE HOLDINGS LTD-SPONS ADR	238	802	120,886	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
合計	株数・金額	3,558	34,583	5,210,334
	銘柄数<比率>	61	-	<91.8%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

外国投資信託証券

銘柄	口数	当期末		比率
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千米ドル	千円	%
PUBLIC STORAGE	567	147	22,210	0.4
WEYERHAEUSER CO	20,331	643	96,884	1.7
合計	口数・金額	20,898	790	119,095
	銘柄数<比率>	2	-	<2.1%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年11月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 5,210,334	% 87.5
投資証券	119,095	2.0
コール・ローン等、その他	625,498	10.5
投資信託財産総額	5,954,927	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (5,509,073千円) の投資信託財産総額 (5,954,927千円) に対する比率は92.5%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=150.66円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年11月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,114,992,061 円
コール・ローン等	622,122,914
株式(評価額)	5,210,334,983
投資証券(評価額)	119,095,152
未収入金	160,064,121
未収配当金	3,374,891
(B) 負債	437,556,394
未払金	397,555,794
未払解約金	40,000,000
未払利息	600
(C) 純資産総額(A-B)	5,677,435,667
元本	5,233,396,455
次期繰越損益金	444,039,212
(D) 受益権総口数	5,233,396,455口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,848円

(注) 当初設定元本額69,980,000円、期中追加設定元本額5,232,440,440円、期中一部解約元本額69,023,985円。当期末現在における1口当たり純資産額1.0848円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているベビーファンドの組入元本額の内訳は、下記のとおりです。

<組入元本額の内訳>

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信 (年2回決算型)

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信 (隔月決算・予想分配金提示型)

3,956,029,664円

1,277,366,791円

○損益の状況 (2023年6月16日～2023年11月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	16,096,796 円
受取配当金	15,479,835
受取利息	663,040
支払利息	△ 46,079
(B) 有価証券売買損益	159,834,204
売買益	284,192,059
売買損	△124,357,855
(C) 保管費用等	△ 1,237,876
(D) 当期損益金(A+B+C)	174,693,124
(E) 追加信託差損益金	273,982,103
(F) 解約差損益金	△ 4,636,015
(G) 計(D+E+F)	444,039,212
次期繰越損益金(G)	444,039,212

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。